

make.fUKUI WONDERS 02



気持ちはすっかり福井人?!

プロジェクトからにじみ出る福井への愛

XSCHOOLメンバーが惚れた、福井の魅力!

福井に根づく文化や風土を紐解き、社会の動きを洞察しながら、新たな事業・プロジェクトを生み出してきたXSCHOOL受講メンバー8チーム24名。ここから生まれた事業・プロジェクトからは、彼らが惚れた福井の魅力がちらりと垣間見えます。

* 2017年3月末時点での事業・プロジェクト構想です。

XSCHOOLとは? 2016年秋、福井市にて開校した次代のデザイナーのための小さな教室です。あらゆる分野・枠組みを横断し、物事を再編集し、新たな価値を生み出す「広義のデザインの力」を養う約120日間の実践的プログラムを実施。福井を拠点とする分野の異なる3社の企業をパートナーに迎え、さまざまなデザイン領域を横断して活躍する講師陣、事業化アドバイザー、ゲストが受講メンバー24名に伴走してきました。東京、大阪、福井から集まった、専門性もバックグラウンドも異なる受講メンバーは、3人1組のチームで対話と実験を繰り返し、福井に根づく文化や風土を紐解き、社会の動きを洞察し、8つのプロジェクトを構想しました。

開講期間:2016年11月11日-2017年3月11日 受講生:24名 パートナー企業:株式会社しじばた、株式会社番匠本店、株式会社廣部硬器 講師:原田祐馬(デザイナー、UMA/design farm代表)、萩原俊矢(Webデザイナー)、高橋孝治(プロダクトデザイナー) 事業化アドバイザー:山口高弘(GOB Incubation Partners株式会社代表取締役) プログラムディレクター:原田祐馬*講師と兼任、多田智美(編集者、MUESUM代表)、内田友紀(株式会社リ・パブリック共同代表)

毎日を探検に変える日めくりカレンダー

こよみミッション



どんなアイデア?

「冬眠中の生き物を探そう」「街で笏谷石を探そう」「次の日早起きして日の出を見よう」、自然科学、歴史、社会など多分野にわたる1日1つの指令が書かれた日めくりカレンダー。季節を感じて、楽しく学びきっかけを生み出します。



このプロジェクトから見える、福井の魅力

- 1 **福井には、三世代同居、家族と夕食を食べる世帯が多い!**
家族とのコミュニケーションのあり方が素敵だと思いました。僕も子どもがいますが、最近家族揃って夕食してないような……。
- 2 **福井では、大正時代から総合的な学力を育む自発教育が続いている!**
知的好奇心を高める、問題解決力を育てる、学び合う、福井の教育の3本柱にグッときました。遊びのなかにこそ学びがある!
- 3 **福井には、創業140年のカレンダー会社、株式会社しじばたがある!**
季節や自然の畏怖を感じて生活するための「暦」。機能を追求するあまり、大事なことを忘れてしまっている今こそ学びたい!

ただいま、クラウドファンディングで支援してくださる方、募集中です!



蝦名豪紀 大学生(インダストリアルデザイン)/青森県出身→東京都在住
加藤洋 Webメディア編集長/京都府出身→滋賀県在住
中川奈保 会社員(広報・PR)/静岡県出身→東京都在住

子どもの安全を願う、光を蓄えたお守り

TSUGUMI



どんなアイデア?

災害時の誘導など公共空間で活用される廣部硬器の代表的な製品・蓄光の磁器。その「光を蓄え、闇で放つ」特性を生かした、子どもの安全を願うお守りです。福井の鳥・ツグミをモチーフに、停電など緊急時にも優しい光で寄り添います。



このプロジェクトから見える、福井の魅力

- 1 **福井には、事故防止や災害時誘導サインに使われる蓄光技術がある!**
株式会社廣部硬器の代表的な技術のひとつである蓄光素材。公共空間を守り、「光を蓄え、暗闇で放つ」特性に惹かれました。
- 2 **福井には、毎年晩秋になるとシベリアから「ツグミ」が渡ってくる!**
福井の人たちに寄り添って冬を過ごす渡り鳥「ツグミ」は丸みのある形がかわいらしく、帰巢性も高いので、お守りにぴったり!
- 3 **福井には、セラミックスなど高い技術を持つ、株式会社廣部硬器がある!**
警察紋章の日本トップシェアを誇る高い技術はもちろん、家族を大切にせる企業文化が魅力。今では僕たちも親戚同然?!

引き続き、廣部硬器さんとともに試作品づくりに奮闘しています!



倉員豪 会社員(金融)/埼玉県出身→東京都在住
高橋めぐみ グラフィックデザイナー/千葉県出身→東京都在住
田中宏幸 会社員(建築設計)/福井県出身→大阪府在住

福井駅番匠ホーム店改修計画

あさひるばんじょう

あさひるばんじょう



どんなアイデア?

JR福井駅のホームに生まれる小さな食堂「あさひるばんじょう」。駅のホームでの「待ち時間」を「楽しむ時間」に変え、食を通してその土地を知る「ホーム食堂」の第一弾。株式会社番匠本店とともに、福井の味を楽しむ空間をつくります。



このプロジェクトから見える、福井の魅力

- 1 **福井には、多くの人の胃袋と心をグッと掴む美味しい食と酒がある!**
福井を発つたびに、毎回「あれ、食べたかったなあ……」と後ろ髪を引かれるほど、福井の美味しい食とお酒に魅了されました。
- 2 **福井には、まちの入り口であり、玄関口である「福井駅」がある!**
手持ち無沙汰な電車の「待ち時間」を生かして、到着して最初の、あるいは出発直前の最後の、思い出づくりを提供する場に!
- 3 **福井には、ずっと記憶に残る駅弁をつくる、株式会社番匠本店がある!**
すべてのお惣菜・駅弁が手づくりで、徹底した品質管理のもと駅弁をつくる番匠本店さんの理念や姿勢に胸を打たれました。

第一弾店舗を福井駅で実現することをめざし、目下準備中です!



玉村交市 会社員(製造業)/福井県出身→福井県在住
青木優莉 コミュニティデザイナー/神奈川県出身→神奈川県在住
木村慎弥 建築家/兵庫県出身→京都府在住

小さな教室の大きな視点

— 東京・福井発表会速報 —

2017年2月に東京で、また3月には福井で行われたXSCHOOL最終発表会。これまで福井へ何度も通いながら、8チームそれぞれが形にしてきたことを多くの人たちに披露する機会となりました。1チーム10分のプレゼンテーション、合間にはさまざまな分野で活躍するゲストによる講評、最後には講師や事業化アドバイザー交えた総評トークセッションを行いました。

XSCHOOLの特徴は、受講メンバーそれぞれが独自の視点で福井をリサーチし、これからの社会を洞察しながら、新しい価値を生み出す事業を創出すること。また誰かに依頼されているわけではないので、自分たちが愛情と情熱を持って向き合える企画を構想し、仲間を巻き込んでいく必要がありました。そこで求められるのは、それぞれの「当事者性」。「私はこう思う!」「こうしたい!」「こう考える!」と、自らを主語にして動き、考え、フルスイングで実践することを大切にしてきました。

東京発表会では、ゲストの林千晶氏から「私たちは、いま目の前にあるものって、ずっと昔から同じようにあるんだって思い込んでしまいがちです。だけど、誰かが『それじゃ、つまらない!』と思って、新しい“当たり前”が生まれて、いまがあります。今日の発表では、単なる思考実験にとどまらず、“当たり前を変えていける力”を感じることができました」と励ましの言葉をいただき、事業化アドバイザー・山口高弘氏は「今日の発表を境に、みなさんは社会という野原に放たれました。同じ事業分野のライバルに負けないように!」と檄をとばしました。

また、福井発表会でのゲストである塩瀬隆之氏は、「福井以外の場所でも通用する、多様な提案があったけれど、どのアイデアからも福井を感じることができました」と発表を振り返り、XSCHOOL受講メンバーと福井の関係性を、「風」と「土」ととえて、語ってくれました。「今日の発表を見ていて、オギュスタン・ベルクの書籍『風土

2016年11月より約4ヶ月の期間を経て、8チームがそれぞれ立ち上げたプロジェクトを東京・福井で発表。合わせて300名超が来場し、会場内に展示されたプロトタイプや企画書を見ながら、受講者と熱心に意見・質疑を交換していました。今号は会の最後に行われた講師とゲストによる総評をレポートします!

の日本』や和辻哲郎による風土論でも語られている、地域における風と土の関係性を思い出しました。外から吹いてくる風を、土は無視するのか、邪魔するのか、あるいは風を受けて形を変えるのか。福井には、いろんな風を受け入れる寛さがあるなと感じました。風=受講者を、土=福井の人が受け入れるからこそ、新しい文化が生まれていくのだと思います」。120日間、福井の未来を思い描き、福井に寄り添ってきた受講生は、もはや純粋な“よそ者”とも言えない存在で、通い詰めるうちに地域との縁を育んでいます。ドミニク・チェン氏からは、「私は遺伝学的には3つのルーツがあります。だけど国籍はフランスなので、あちこちにふるさとの状態なんです。でも移動することが簡単になった、いまの時代、もはや複数のルーツがあることは当たり前。いろんなものを融け合わせていくことで、未来のローカルティを考へる手がかりになるのではないかとコメントを

いただきました。発表会を終えた受講メンバーは、いよいよスタートラインに立つことができました。これから福井の新たな魅力を生みだし、未来を少し変えてしまうかもしれない事業が、ここ福井から育っていくのが楽しみになるような発表会でした。



▲ 発表会の前週に東京でリハーサルを行い、さらにアップデートした状態で福井の人たちへプレゼンを行った



▲ 同会場で開催中の「地域×デザイン2017」展の一角にて発表会を実施。多くの福井出身者も来場した

また、福井発表会でのゲストである塩瀬隆之氏は、「福井以外の場所でも通用する、多様な提案があったけれど、どのアイデアからも福井を感じることができました」と発表を振り返り、XSCHOOL受講メンバーと福井の

関係性を、「風」と「土」ととえて、語ってくれました。「今日の発表を見ていて、オギュスタン・ベルクの書籍『風土

東京発表会 2017年2月19日(日) 13:30-18:00
会場: 東京ミッドタウン・デザインハブ インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター
登壇者: 受講生、講師、事業化アドバイザー
ゲスト: 林千晶(ロフトワーク共同創業者、代表取締役)、山口高弘(事業化アドバイザー、GOB Incubation Partners 株式会社代表取締役)

福井発表会 2017年3月11日(土) 13:30-18:00
会場: 福井新聞社 風の森ホール
登壇者: 受講生、講師
ゲスト: ドミニク・チェン(株式会社ディヴィデュアル共同創業者、NPO コモンズフィア理事)、塩瀬隆之(京都大学総合博物館 准教授)

PROJECT 2 メークファイト!!!



リサーチ対決 番外編 その2

福井の資源ってどんなもの? 大学生が発掘・調査してきた、知られざる福井の魅力を紹介!

企画したのは……
工口もチーム
竹原朋子、廖品浄、小林忠広
/ 慶應義塾大学大学院

福井市の北にある三里浜でつくられるさつまいも。隣町あわら市の「とみつ金時」が甘くて有名ですが、鳴門金時をルーツとする「越前金時芋」も甘さに引けを取らない。しかし、生産している農家さんは5軒ほど。ブランドとして、どう展開していくかが課題。

企画: 防災キット「福がこい」
幸福度の高い福井がつくる防災グッズ。越前金時芋をはじめ、福井が誇る食・伝統工芸を詰め込んだ秘蔵のボックスを提案。
※「福井発! ビジネスプランコンテスト」にてグランプリ、会場賞、福井信金賞の三冠獲得

越前金時芋



福井で生まれた「幸福芋」?!

企画したのは……
ONE STEP AHEAD チーム
忍足渡夢、小嶋諭司、ネバル・アナング
/ 京都情報大学院大学

福井市にある中世最大の遺跡で戦国時代の名将・朝倉氏の本拠地として栄えた場所。最盛期は人口1万人以上だった巨大な都市は、織田信長により滅亡に追い込まれた。国の特別史跡指定、特別名勝指定、重要文化財指定を受けた歴史的価値ある場所のひとつ。

企画: ASAKURA 3C
遺跡を舞台に文化教育・交流・創造を行うプラットフォームを構築。遺跡の3Dモデルをもとにゲームのコンペティションを企画。



一乗谷朝倉氏遺跡

PROJECT 3 次代の“あたりまえ”な働き方研究所

お悩み相談室

人生、無理難題にぶち当たることは多々あります。あなたのピンチを救うのは、福井で働く先輩たちかも?!

HELP!

転職・移住反対の妻をなんとか口説きたい!

福井を訪れて以来、すっかり気に入ってしまい、住みたくまりました。妻に打ち明けると大反対を食らってしまい(涙)。決めゼリフ求む!

そんなあなたに……

福井は家庭と仕事の両立を応援・実践している企業がたくさんあります。福井で働く人たちの“余裕の心”が、子育てや自分の夢のための勉強時間を生み出すのではないのでしょうか。一緒に福井で余裕を感じませんか?

今号のおたすけ研究員
中島菜穂さん
福井県民生活協同組合
子育て支援担当
配達業務などをこなして、働きながら保育士資格を取得。現在は子育て支援業務を担当する。

そんなあなたに……

決め手は、子育てしやすい環境! 福井の豊かな自然は子どもとの遊び場に。保育園の問題も解消。教育に熱心。温かい地域の人たちと関わりながら親子で成長していくのも福井らしさ。充実した子育て、体感してみませんか?

今号のおたすけ研究員
今井貴史さん
日華化学
グループ管理室 グループサブリーダー(人事担当)
東京で長らく働いた後、昨年Uターンし、現職。採用業務を通じて、ファン化活動実施中。

そんなあなたに……

海や山の幸が豊富で、一乗谷や大本山永平寺の精進料理など、他県にはない食文化を誇る福井は、食の宝庫! 全国でもお惣菜の購入率が上位でスーパーにもいろんな種類のメニューが並び、女性が働きやすい環境が整っています。

今号のおたすけ研究員
濱田真紀さん
米五
営業販売部
みそムリエの資格を持ち、店舗運営や接客を担当。販売イベントの企画・運営にも携わる。

中高生記者は見た！

取材メモから
紐解く未来の福井

技術力は世界レベル！

3Dプリンタや工作機械をつくっている松浦機械製作所を見学しました。海外にも社があり、ここでつくられた機械は世界中で使われているそう。その秘密は細かいところを人の手で丁寧に仕上げることだと聞いて、福井の技術力に驚きました！

技術者をも惹きつける技術！

説明して下さった高橋さんは、この会社に魅力を感じて東京からUターンしたそう。「この業界はプロがお客さんだから、妥協は許されなんです」という言葉に、仕事への誇りを感じました。



新聞制作：上坂嘉崇、竹内陽香、谷口咲優、松浦直輝

若者にも人気の商品になる、へしこ！

へしこの美味しさを伝える越前漁業協同組合「ぬかちゃんグループ」が手がける「へしこのオリーブオイル漬け」。昔の知恵と今の流行を融合させるおばちゃんパワー恐るべし！



新聞制作：小原真望、岡渚、川谷優佳、高橋千加子、開田有優花

制服は、ここから生まれた？！
昔、貧しい人たちが身なりを気にして人前に出たがらないのを見かねて、朝倉氏が町人に服を支給したことが制服のはじまりなんだとか。一乗谷朝倉氏遺跡は、制服のルーツでもありました！



make.f PROJECTの出来事をちらりとご紹介



1月19日
WEB「find.f WONDERS」公開



1月28・29日
第5回ワークショップ PJ1



1月28～2月3日
冬の日本海トライアルステイ1組目 EXTRA PJ



2月4日
福井発! ビジネスプランコンテストにて
グランプリ含む三冠受賞 PJ2



2月12日
発表会直前のプレゼンチェック PJ1



2月15日
ふりかえりワークショップ PJ3



2月19日
東京・ミッドタウンでの発表会 PJ1



3月4日
発表会直前のプレゼンチェック PJ1



3月11日
福井・福井新聞社での発表会 PJ1

EXTRA PROJECT

冬の日本海トライアルステイ

その心は？

雪がちらつく福井の冬は、とって
も寒い。でも、寒さをこらえて越
酒のまちを歩いてみよう！ まず
は山の方へ。そこには、水仙の花
が咲き誇る美しい景色が広がっ
ている。越前地区発祥の越前水仙
は、冬が見頃だ。次は海の方へ。細
い道を歩くと、「寒いねえ」とお
ばあちゃん。気づけば、話に花が
咲く。海に着くと、日本海独特の
強風(玉風)が吹く寒い日にしか
現れることのない貴重な波の
花々が！ 心はポカポカ、身体は
冷えひえ。さあ、家に引き
込んだ温泉に入って温まろう。
文・前田浩貴「丸山晴之建築事務所」



information 越酒の家

所在地：福井市越前地区(居倉町)
面積：163.5m² 建築構造：木造
築年数：約100年 建物階数：2階
1階＝キッチン・3室(8畳和室×2、
8畳洋室)・浴室 2階＝リビング・2
室(8畳和室×2)



独楽吟とは？

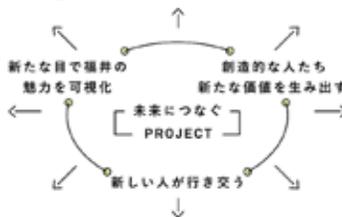
現福井市に生まれた歌人・橋端寛が
昭和9年に編纂・発行した歌集。「た
のしみは」からはじまり、「のとき」で
締める歌で構成されている。

ここで一句！

Illustration: Shingo Minamide

未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト make.fUKUI

福井でつくろう、福井をつくろう まちの魅力や価値の可視化を通して、地域を超えた「新たな人の流れの創出」を目指し、始動しました。さまざまな世代を対象としたプロジェクト、独自メディアの運営・発信をすることで、福井に暮らす人々には暮らしの中での再発見を、まだ福井を知らない人々にはまちと出会うきっかけをつくっていきます。世代や地域を超えたたくさんの人が行き交い、これからの暮らしや働き方、関係性を育む未来の地域のあり方を、この福井市を起点に実践し、発信していきます。



実施主体：未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト
主宰：福井市 協力：福井大学産学官連携本部、株式会社福井銀行、株式会社福井新聞社 運営：株式会社リ・パブリック、株式会社福井新聞社

『make.fUKUI WONDERS』
発行日：2017年3月25日 発行元：福井市 監修：株式会社リ・パブリック、株式会社福井新聞社 編集ディレクション&編集：MUESUM
(多田智美、永江大) アートディレクション&デザイン：UMA/design farm(原田祐馬、西野亮介、平川かな江) 撮影：出地瑠以、片岡杏子

未来につなぐ ふくい魅える化プロジェクト

make.fUKUI WONDERS

http://makef.jp/